

環境特集

海外編

イギリス

水質汚染の軽減に 国がプロジェクト

イギリスの環境・食糧・農村地域省(Defra)は、イングランド

農村振興計画のもと、農家を実施する水質汚染軽減プロジェクトを支援する「水質資本補助金」の第1回応募受け付けをはじめた。

これは農業が環境とくに水質に及ぼす影響を軽減することを目的にしたもので、政府が計1000万ポンド相当の資金を拠出する。

この水質資本補助金制度の基になった「集水域に配慮した農業」計画では2011〜2014年にイングランド中の農家6200世帯に総額7200ポンドを助成、農家による

水質・水環境保護を可能にしたという。

一方、この水質資本補助金に先立って、Defraは、農業、土地、森林管理者を対象にした新たな「森林資本補助金」(総額400万ポンド相当)の募集もスタートしている。両補助金は2015年夏から本格的展開する「農園地域管理スキーム」の第一段階。

同スキームは今後6年間にわたって農家・土地管理者による環境に優しい技術の開発や生け垣の修復・水質改善の新たな取り組みにたいして約9億ポンドを助成する予定という。

生物多様性と人の健康 WHOがデータ公表

生物多様性条約(CBD)事務局と世界保健機構(WHO)は、生物多様性の保全と持続可能な利用が人の健康に好影響を及ぼすことを示す報告書をまとめ、公表した。

報告書によると、生物多様性と食糧生産・栄養、微生物多様性と非感染症、医療、医薬品、身体、精神文

化的福利、気候変動と災害リスクの軽減、持続可能な消費と生産など、人の健康に関わる各領域で生物多様性が果たす役割について具体的な例が示されている。

たとえば、食糧生産と栄養については、生物多様性は、作物、家畜、養殖魚などの基盤であるとともに、

これらの遺伝的多様性から食糧生産の継続的な改良や気候変動などへの適応が可能になるという。

また、生物多様性が、食物の多様性や栄養、健康を支えていることも指摘している。

報告書の結論では生物多様と健康には相互に関連する様々な課題が関係しているため、部門間の連携や社会科学と自然科学の枠を超えた学際的なアプローチに基づいた計画をたて、地域コミュニティとともに実施していく必要があるとも述べている。



イギリスの田園地帯

今世紀末アフリカで3〜6度上昇 国連環境計画（UNEP）が警鐘

国連環境計画（UNEP）は、気候の変動—とくに温暖化などが他の大陸よりも加速しているアフリカで、



アフリカでは随所に深刻な砂漠化が進行している

2050年には年間500億^{ドル}に達する可能性が高く、緊急な対応を必要とする予測を、新たな「アフリカの適応ギャップ」報告書の中で示した。

この報告書は第15回アフリカ環境大臣会議（AMCEN）で発表されたもので、UNEPの「排出ギャップ報告書2014年版」、同「世界適応ギャップ報告書2014年版」を基にしている。

仮に温暖化がシナリオを上回って進行すると、今世紀末にアフリカの大半で気温は3〜6度上昇し、農業生産、食糧の保存などに深刻な影響を受け、アフリカ住民への危機が増す、という。

報告書は、こうした気候変動影響に適應するための莫大な費用を軽減するには、地球規模での大幅な温室効果ガス排出の削減が必要だが、アフリカの財源不足を補い、適応ギャ

ップを埋めるためには十分な国際的資金援助と、アフリカ諸国および、その周辺地域の包括的で実効性のある政策、能力構築が不可欠だとしている。

このため、国連環境計画として次の目標を掲げている。

- ① 排出削減を実現しても気候変動コストは予想を大幅に超過
- ② 世界の気温上昇を2度未満に抑えるには今世紀後半までにカーボンニュートラルを実現する必要がある
- ③ 「排出ギャップ報告書2013年版」で温室効果ガス削減対策の早期拡充
- ④ 一酸化二窒素（N₂O）の増加がもたらすオゾン層破壊と気候変動のリスク
- ⑤ 気温上昇を2度未満に抑える排出削減の具体策⑥ 加速する地球温暖化に警鐘—などとしている。